

2017年10月10日  
株式会社高島屋  
東神開発株式会社

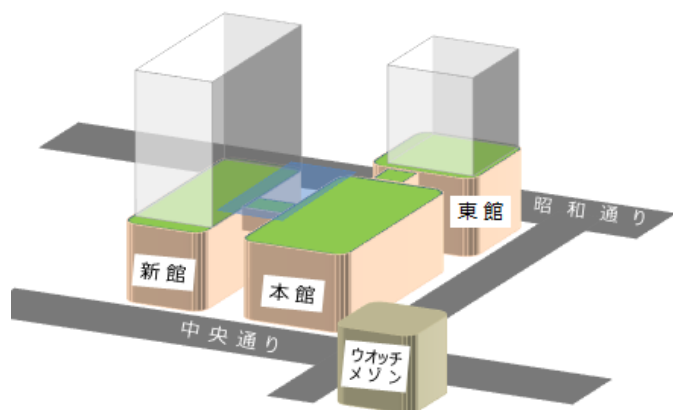
## 2018年秋 「日本橋高島屋 S.C.」 誕生

現在、株式会社高島屋は日本橋二丁目地区市街地再開発組合の一員として、「日本橋二丁目地区第一種市街地再開発事業」を推進しております。

同事業は当社グループが推進する「まちづくり戦略」を象徴する事業であり、高島屋日本橋店に隣接して専門店エリアを新設・増床し、東京の中心に百貨店を核とした、約66,000㎡の新・都市型ショッピングセンター「日本橋高島屋 S.C.」が誕生します。



(日本橋高島屋 S.C.外観 イメージ俯瞰図)



### 重要文化財 日本橋店を含む4館体制

「日本橋高島屋 S.C.」は、日本初の重要文化財である「本館（日本橋高島屋）」を残しながら、中央通り側の開発地区（C街区）の低層部「新館（地下1階～7階）」、2018年春に先行開業する昭和通り側の開発街区（A街区）の低層部「東館（4、5階）」に2015年に開業した「ウォッチメゾン」を加えた4館で構成されます。

また、本館－新館、本館－東館は各々2本の連絡ブリッジ及び地下道で接続いたします。

### 魅力ある専門店エリアの構築

新館、東館、ガレリア専門店（本館側面）からなる、新設の専門店エリアは、お客様からも高い支持を得る「玉川高島屋 S・C」などの実績を持つグループ会社東神開発株式会社がテナントリーシング及び管理運営することで、従来の百貨店に新しい魅力を付加した商業施設を構築いたします。



(日本橋高島屋 S.C.外観 イメージ 中央通り側ファサード)

【施設名称】 日本橋高島屋S.C.（日本橋高島屋ショッピングセンター）

【施設ロゴ】



【開業時期(新館開業時期)】

2018年(平成30年)9月予定

【施設概要】

	用途	階数	売場面積
本館	百貨店、専門店	地下2階～8階	約46,000 m <sup>2</sup>
新館	専門店	地下1階～7階	約17,000 m <sup>2</sup>
東館	百貨店、専門店	地上4階、5階	約2,000 m <sup>2</sup>
ウオッチメゾン	時計専門店	地上1階、2階	約800 m <sup>2</sup>

【コンセプト】

■ 「日本橋高島屋 S.C.」全体コンセプト

～「美しい暮らしスタイル」を発信する店～

高島屋が長きにわたり大切にしてきた「暮らしの提案」を、時代性を加味しながら更に磨き上げ日本橋高島屋 S.C.から発信することで、人々の暮らしに潤いと彩りを添える「美しい暮らし」を実現

■ 「新館」コンセプト

～「日本橋生活者」のための場の提供～

日本橋という街を生活の拠点とし、暮らしを慈しみ楽しむ人々「日本橋生活者」が、職場でも家でもない居心地のよいスペースとして思い思いの時間を過ごせる場所を提供

【想定ターゲット】

- ・ 全国からご来店いただいている「高島屋日本橋店」既存のお客様
- ・ 増加傾向にある近隣商圏のオフィスワーカーや居住者
- ・ 日本橋地区全体で流入が増加している国内外のツーリスト

## 【再開発と連動した施設整備】

### ① 日本橋ギャラリー（仮称）の設置

本館と新館の間にある区道284号線は地域のにぎわい核の創出に向けた取り組みとして都市計画により歩行者専用道路となります。道路上空には地域の象徴にもなる「大屋根」が設置され、ギャラリー空間が誕生します。区道沿線を路面店舗化して界限性を高めます。



（日本橋ギャラリー（仮称）イメージ）



（地下区道・本館百貨店側イメージ）

### ② 歩行者ネットワークの整備

都市計画では、狭隘な東京メトロ銀座線のコンコース拡幅のために地下広場を設けます。また、新館と本館の間の地下空間には新たに地下区道を設置、銀座線コンコースから東館の地下を経由して都営日本橋駐車場に至る地下歩行者ネットワークが整備されます。これに伴い、本館の地下鉄口玄関を移設し、ユニバーサルデザインの玄関へ更新いたします。

### ③ 都内最大級の屋上庭園の整備（2019年春完成予定）

本館屋上と新館・東館の基壇部屋上を合わせ、約6,000㎡の都内では最大級となる屋上庭園「日本橋グリーンテラス」を設置します。ご来店のお客様のみならず、ビル高層部オフィスのワーカーや、周辺の住民の方々にもご利用いただけるオープンスペースとし、様々なイベントも実施し、日本橋地区の賑わいに寄与します。



（屋上庭園イメージ）

### ④ 駐車場の整備、車寄せの設置

新館、東館の地下には駐車場を設け、利便性の高い駐車場サービスを提供いたします。また、本館東側地上部分に車寄せを設け（2019年春完成予定）、VIP車両のお出迎え、タクシーの乗降などを敷地内で実施することで、お客様の利便性向上と周辺の道路環境改善に努めます。